

新古今 歳時記

平成 27年11月

戦前の歳時記の様子を紹介した故林鼓浪の連載をもとに、昔懐かしい行事など、現在と比べながら、話題のイベントを紹介していきたい。
11月と言えば、紅葉シーズン。高の瀬峡など、剣山系の高い山々から、日を追って住宅街へ秋模様が下りてくる季節。冬支度で、慌しくなる頃だが、少し出掛けて秋を満喫してみよう。



写真：大麻比古神社例祭

月
新暦・旧暦

雑節・祝日

祭・イベント

季節の風物詩

13 金	12 木	11 水	10 火	9 月	8 日	7 土	6 金	5 木	4 水	3 火	2 月	1 日
みずのと 四緑大安 み	みずのえ 五黄仏滅 たつ	かのと 六白友引 う	かのえ 七赤先勝 とら	つちのと 八白赤口 うし	つちのえ 九紫大安 ね	ひのと 一白仏滅 い	ひのえ 二黒先負 いぬ	きのと 三碧友引 とり	きのえ 四緑先勝 さる	みずのと 五黄赤口 ひつじ	みずのえ 六白大安 うま	かのと 七赤仏滅 み
旧 10.2	旧 10.1	旧 9.30	旧 9.29	旧 9.28	旧 9.27	旧 9.26	旧 9.25	旧 9.24	旧 9.23	旧 9.22	旧 9.21	旧 9.20
		世界平和記念日 介護の日	技術の日	全国火災予防運動	立冬			津波防災の日 一の酉		文化の日 下弦	三りんぼう	米穀年度始め
	新月											
			8日 吉野川コレクション (鴨島公民館)	8日 轟秋祭り (海陽町王余魚台) 小春日和の季節	3日 大飼農村舞台公演 (徳島市八多町) 山茶始開	1〜3日 ふるさとカーニバル 阿波の狸まつり (徳島市藍場浜公園) 木枯らし一号吹く頃	10/25 〜3日 神山アーテイス ・イン・レジデンス (神山町各地)	10/20 〜3日 秋のバラまつり (藍住町バラ園)	10/20 〜3日 秋のバラまつり (藍住町バラ園)	1日 八面神社農村舞台 Humanoise Project (那賀町西納)	1日 大麻比古神社例祭 (鳴門市大麻)	31 〜翌月1日 エクストリーム チャレンジ 四国の右下 (海陽町まぜのおか)
菊花開	ちはじめてこある 地始凍	カエデ紅葉する						サザンカ咲く		晴天の特異日	リンゴ出回る	もみじつたきばむ 楓鳥黄色

※掲載のイベント情報は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

昔 64年前の連載より

この月の秋祭りは板東町の大麻比古神社。徳島市内では三日が富田八幡、五日が佐古の諏訪神社、十日が勢見金刃比羅神社と続いている。いよいよおしまいになるしんがり祭といつので金比羅さんはことしもにぎやかにはずむことであろう。元暦時代の遺跡と称した『義経駒つなぎ松』はかつての風水害で倒れてしまい展望台としての風致を添えていた絵馬堂も、壮麗な社殿とともに惜しくも焼失した。



さし絵：金刃比羅神社の絵馬堂（林鼓浪）

戦前のような大道の両側から観音寺の山門に近い所までのにぎやかさと軽業小屋のはやしにすい寄せられなだれを打つような雑とつを高い絵馬堂の上から臨むことはもう出来なくなつたが岩のハナの石燈籠だけは幸い

傷つていない。天保のころ国産アイ玉積問屋中が奉献したというあのすばらしい台石は、大道四丁目から足場をかけてすえたといわれるのだが、付近の人々が案外無関心なのはおかしい。郷土を象徴する文化財にこんな立派な結構なものが残っていることをせめて祭の日には台石の文字とともに県民に見ておいてもらいたい。
十一月には例年の通り『お亥の子さんの日』が七日と十九日と二回ある。俗信によるとイノシシは十二匹の子を生み、ウルウの年はまた子を生むという。女子は子種をあやかる意味で、亥の日亥の刻にモチをつけて神にささげ、安産や子どもの息災を願うというのがいつか子どもたちの遊びごとになつて『亥の子モチつくれんせ、モチくれる家は、金の柱建てて小判で屋根ふいて福入る、ふくいぞ』と路上を石やワラで打ちながら、大勢でモチつき遊びをした時代は過ぎ去つたが、現在なお農村で赤イワシ、ユウなどマスに盛つてお祭するのはますます子種を繁昌というわけであろう。

ところで『おふなとさんの綿着』という行事が名西の奥、上山地方に残っている。この神は久岐戸神といつて十二人の子を設け

1 火	30 月	29 日	28 土	27 金	26 木	25 水	24 火	23 月	22 日	21 土	20 金	19 木	18 水	17 火	16 月	15 日	14 土
かのと 四緑大安	かのえ 五黄仏滅	つちのと 六白先負	つちのえ 七赤友引	ひのと 八白先勝	ひのえ 九紫赤口	きのと 一白大安	きのえ 二黒仏滅	みずのと 三碧先負	みずのえ 四緑友引	かのと 五黄先勝	かのえ 六白赤口	つちのと 七赤大安	つちのえ 八白仏滅	ひのと 九紫先負	ひのえ 一白友引	きのと 二黒先勝	きのえ 三碧赤口
い	にぬ	とり	さる	ひつじ	うま	み	たつ	う	とら	うし	ね	い	いぬ	とり	さる	ひつじ	うま
旧 10.20	旧 10.19	旧 10.18	旧 10.17	旧 10.16	旧 10.15	旧 10.14	旧 10.13	旧 10.12	旧 10.11	旧 10.10	旧 10.9	旧 10.8	旧 10.7	旧 10.6	旧 10.5	旧 10.4	旧 10.3
		三の酉		二の酉		一の酉		勤労感謝の日 小雪	農業協同組合記念日 三りんぼつ		二の酉		七五三 家族の日				
満月		上弦															
28・29日 アステイ秋の阿波 おどり〜阿波おどり大絵巻 (アステイとくしま)		28・29日 阿南市活竹祭&全国 井サミット地方大会 (南部健康運動公園)		28・29日 とくしまご当地 グルメフェスティバル (徳島藍場浜公園)		28日 こまつしま・うまい もん祭り&みなと海鮮朝市 (小松島みなと交流センター)		27日 井川スキー場 腕山オープン (三好市井川町)		23日 大久保いちようまつり (神山町神領)		22日 坂州農村舞台 (那賀町木沢)		22日 妖怪まつり 藤の里公園 (三好市山城町)		21・22日 徳島城内小屋掛公演 阿波人形浄瑠璃芝居 (徳島中央公園)	
21・23日 神山森林公園 イルローザの森 紅葉祭り (神山町)		15日 あさんウォーキング フェスタ『いたの (あすたむらんど)		10/23 〜15日 鴨島大菊人形 (吉野川市鴨島駅前)		14・15日 東林院・大谷焼窯まつり (鳴門市大麻町大谷)											
ネギ出回る		イチヨウ落葉する		金盞香		しし座流星群極大日		カキ貝出回る		にじかく 虹蔵不見		時雨の季節		きたかぜこのはをさらう 朔風払葉		木枯らしの季節	

今 秋まつり仕舞い

徳島の二宮・鳴門の大麻比古神社の例大祭を始め、県内の神社では秋の例祭の結びの月となり、鼓浪も記しているように、富田八幡神社、諏訪神社、金刃比羅神社など徳島市内だけでなく、県内至る場所で祭りやイベントが開催される。昨年の秋、私ごとではあるが、この大麻比古神社の

たので、冬は子が寒かろうとハシの先に丸めた綿をとり付けたのを供えするが、南方の漁村でも同じように行つてゐるが、『お亥の子さん』『おふなとさん』とが同じ出産縁起から混同して『おふなとさん』の祭りに『お亥の子さん』の歌をつたてはやすところもある。

とにかく阿波では女子の祝い日とされ家庭でママゴトをして遊ぶ習慣がありまた弁天参りをしだしてから小松島、金磯弁天など最近まで『お亥の子さん』の日を終日参り客が絶えなかった。

昭和26年11月 徳島新聞連載
阿波歳時記11月の巻より抜粋
著者：絵師・郷土芸能研究家
林鼓浪（1887〜1965）



取材デザイン編集
上野昇（のちゃん）
四国大学
生活科学部講師

ところで、今回の掲載で「お亥の子さん」の話題が大半を占めているが、40代・徳島市育ちの私にとって、初めて聞いた風習である。かつて、つるぎ町の土釜鳴滝の猿飼など、いろいろな地域で続いていたそうだが、残念ながら、今はほとんど途絶えているように思える。一度は体験したいと思うが、この「お亥の子さん」今でも続いている所はあるのだろうか？



写真：金刃比羅神社の石燈籠と参道（徳島市勢見山）

例祭を見に行つた。もうあれから二年経つたのかと思うと、最近、月日の経つのが更に早くなつたと溜息が出てしまふ。